

教科		科目		担当		
地理歴史		歴史総合		単位数: 2 単位	北田 邦夫	
指導目標 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を設定したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。						
高校通信講座		あり	講座数：全 20 回	教科書	実教出版 歴史総合	
スクーリング		1 時間×3 回	合格時間数 1 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用	
レポート		全 6 回	合格枚数 6 枚	副教材	なし	
期末試験		あり	期末試験評価割合 70%	評 定	100 点法 5 段階評定	
回	配信 日付	高校通信教育講座 (学習項目)		レポート (〆切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1	4/18	入門講座:「歴史総合」とはどんな科目?・「江戸時代までの日本と世界」			第 1 回 4/6 (日)・4/23 (水)・4/11 (金) 「歴史の扉」・「近代化への問い」: 日常生活や身近な地域などにみられる諸事象が時間的な推移や空間的な結びつきの中で歴史とつながっていること、そして資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。また産業社会と国民国家の形成を背景として人々の生活や社会の在り方が変化したことを理解する。	
2	4/18	世界史上の三大革命とその影響		第 1 回 5/2		
3	4/25	19 世紀の世界と日本の開国				
4	5/2	世界の中の明治維新		第 2 回 5/16		
5	5/9	近代国家日本の確立				
6	5/16	帝国主義の時代と東アジア		第 3 回 5/30		
7	5/23	東アジアの変動と日本の産業革命				
8	5/30	第一次世界大戦と日本		第 4 回 6/13	第 2 回 5/25 (日)・6/25 (水)・5/30 (金) 「国際秩序の変化や大衆化への問い」: ガンディーによる「塩の行進」を考察することにより、「非暴力・不服従」という手段が問題解決の一つの手段と成り得る事を踏まえ、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史とその意味を理解する。 第 3 回 7/6 (日)・7/16 (水)・7/4 (金) 「グローバル化への問い」・「現代的な諸課題の形成と展望」: 科学技術の革新を背景に人・商品・資本・情報等が国境を越えて一層流動するようになり、人々の生活や社会の在り方が変化したことを理解する。	
9	6/6	ヴェルサイユ・ワシントン体制とアジアの民族運動				
10	6/13	社会運動と普通選挙の実現		第 5 回 6/27		
11	6/20	世界恐慌からファシズムの時代へ				
12	6/27	軍部の台頭と戦時体制の確立		第 6 回 7/11		
13	7/4	第二次世界大戦とその時代				
14	7/11	戦後の世界と日本の民主化				
15	7/18	植民地の独立と多極化する世界				
16	7/21	期末試験について				
17	8/1	期末試験について				
18	8/8	日本の高度経済成長と世界経済		期末試験：9/3 (水) 試験範囲：第 2 週～第 13 週 レポート第 1 回～第 6 回 ※スクーリングは、(日) (水) それぞれ登校クラスごと、(金) は 1 年次のみに実施。		
19	8/15	冷戦の終息と日本の経済大国化				
20	8/22	地域紛争と国際秩序の変容				

教 科		科 目		担 当 者	
地理歴史		地理総合	単位数：2単位	緑川 孝浩	
指導目標					
1. 生活文化の多様性や地球的課題への取り組みを理解し、地理情報システムなどを用いて地理的技能を身に付ける。					
2. 地理に関わる事象を多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けて議論する力を養う。					
3. 我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。					
高校通信教育講座	あり	講 座 数：全20回	教 科 書	『新地理総合』 『新詳高等地図』	
スクーリング	1単位時間×3回	合格時間数：1時間以上	学 習 図 書	自校作成の教材資料を使用	
レポ ー ト	全6回	合 格 枚 数：6枚	副 教 材	なし	
期 末 試 験	あり	期末試験評価割合 70%	評 定	100点法5段階評定	
回	配信日	高校通信教育講座 (学習項目)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1	4/18	地理を学ぶ（入門講座）		① A：4/6(日) W：4/23(水) Wf：4/11(金) ・地球上の位置と時差 ・地図の役割と種類	
2	4/18	地球上の位置と時差	第1回 5月2日		
3	4/25	地図の役割と種類	※スクーリングにはロイロノートを利用できるタブレット、 スマートフォン、PCなどを持参すること。 ※スクーリングの内容は変更する場合があります。		
4	5/2	現代世界の国家と領域		第2回 5月16日	
5	5/9	グローバル化する世界	② A：5/25(日) W：6/25(水) Wf：5/30(金) ・世界の地形と人々の生活		
6	5/16	世界の地形と人々の生活①		第3回 5月30日	
7	5/23	世界の地形と人々の生活②	※スクーリングにはロイロノートを利用できるタブレット、 スマートフォン、PCなどを持参すること。 ※スクーリングの内容は変更する場合があります。		
8	5/30	世界の気候と人々の生活		第4回 6月13日	
9	6/6	地球環境問題	③ A：7/6(日) W：7/16(水) Wf：7/4(金) ・世界の気候と人々の生活		
10	6/13	資源エネルギー問題		第5回 6月27日	
11	6/20	人口・食料問題	※スクーリングにはロイロノートを利用できるタブレット、 スマートフォン、PCなどを持参すること。 ※スクーリングの内容は変更する場合があります。		
12	6/27	都市・居住問題		第6回 7月11日	
13	7/4	自然災害と防災①	※スクーリングにはロイロノートを利用できるタブレット、 スマートフォン、PCなどを持参すること。 ※スクーリングの内容は変更する場合があります。		
14	7/11	自然災害と防災②			
15	7/18	世界の気候と人々の生活（追究事例）			
16	7/25	期末試験について①			
17	8/1	期末試験について②			
18	8/8	世界の言語・宗教と人々の生活（追究事例）			
19	8/15	歴史的背景と人々の生活（追究事例）	期末試験：9/3(水) 1時間目(9:30～10:20) 試験範囲：【通信講座】第2週～第13週 【レポート】第1回～第6回		
20	8/22	世界の産業と人々の生活（追究事例）			

2025 年度春学期 学習予定表（各週の講座は配信日付の午前零時以降視聴できます）

年度	学期	科目		担当
2025	春	日本史探究①	単位数 (2)	田村 基成
我が国の歴史の展開について総合的な理解を深め、各時代の展開に関わる概念等を活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し、地域や日本、世界の歴史の関わりを踏まえ、現代の日本の諸課題とその展望を探究する力を養う。				
高校通信講座	あり	講座数：全20回	教科書	日本史探究 東書日探 701
スクーリング	全 時間・3回	合格時間数 1時間	教材	なし
レポート	全 6枚	合格枚数 6枚	日本史探究の標準単位：4単位	
期末試験	あり			

○シラバス 授業進度表

回	配信 日付	高校通信教育講座 学習項目	レポート 締切期日	スクーリング 日程と内容
1	4/18	日本史探究について、歴史の表示		邪馬台国の成立 4/20 4/23
2	4/18	旧石器時代の日本、縄文文化	第 1 回 5/2	邪馬台国の成立過程と、近畿説・北九州説について考察する。邪馬台国は、大和王権になったのかについて考察する。
3	4/25	弥生文化		
4	5/2	大和王権と古墳文化	第 2 回 5/16	
5	5/9	飛鳥の朝廷、飛鳥文化		
6	5/16	律令国家の形成、白鳳文化	第 3 回 5/30	
7	5/23	平城京、天平文化		平氏政権の特徴について考察する。平安中期までの貴族による摂関政治及び後の鎌倉幕府と比較する。平氏がなぜ貴族化し、貿易に力を注いだかについても考察する。
8	5/30	平安遷都、貴族社会と摂関政治	第 4 回 6/13	
9	6/6	荘園の発達、国風文化		
10	6/13	武士の政治進出	第 5 回 6/27	
11	6/20	源平の合戦、鎌倉幕府の成立		
12	6/27	執権政治	第 6 回 7/11	
13	7/4	モンゴルの襲来、鎌倉文化		初めての武家政権である、鎌倉幕府について考察する。なぜ、鎌倉に幕府が置かれたか、北条氏はなぜ、将軍とならずに執権の地位に留まったのか、得宗家はなぜ強大な権力を持ったかについて考察する。
14	7/11	南北朝の動乱		
15	7/18	室町幕府の成立		
16	7/25	期末試験について		
17	8/1	期末試験について		
18	8/8	倭寇と東アジアの国際交流		
19	8/15	室町時代の社会と経済活動	期末試験範囲：第 1 回～第 1 3 回 レポート第 1 回～第 6 回	
20	8/22	室町文化	期末試験 : 9/2	

教 科		科 目		担 当 者		
地理歴史		地理探究①		単位数：2 単位	緑川 孝浩	
指導目標						
1. 生活文化の多様性や地球的課題への取り組みを理解し、地理情報システムなどを用いて地理的技能を身に付ける。						
2. 地理に関わる事象を多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けて議論する力を養う。						
3. 我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。						
高校通信教育講座	あり	講 座 数：全 20 回	教 科 書	『新詳地理探究』『新詳高等地図』		
スクーリング	1 単位時間×3 回	合格時間数：1 時間以上	学 習 図 書	自校作成の教材資料を使用		
レポ ー ト	全 6 回	合 格 枚 数：6 枚	副 教 材	なし		
期 末 試 験	あり	期末試験評価割合 70%	評 定	100 点法 5 段階評定		
回	配信日	高校通信教育講座 (学習項目)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)		
1	4/18	地理を学ぶ（入門講座）	第 1 回 5 月 2 日	【第 1 回】 A：4/20(日) W：4/23(水) ・地球上の位置と時差 ・地図の役割と種類		
2	4/18	大地形の形成と特徴		第 2 回 5 月 16 日	※スクーリングにはロイロノートを利用できるタブレット、スマートフォン、PC などを持参すること。 ※スクーリングの内容は変更する場合があります。	
3	4/25	小地形の形成と特徴				
4	5/2	気候の成り立ちと生態系				
5	5/9	世界の気候区分①	第 3 回 5 月 30 日	【第 2 回】 A：6/8(日) W：5/28(水) ・世界の地形と人々の生活		
6	5/16	世界の気候区分②		※スクーリングにはロイロノートを利用できるタブレット、スマートフォン、PC などを持参すること。 ※スクーリングの内容は変更する場合があります。		
7	5/23	地球環境問題				
8	5/30	農業の発達と地域区分				
9	6/6	世界と日本の農林水産業	第 4 回 6 月 13 日	※スクーリングにはロイロノートを利用できるタブレット、スマートフォン、PC などを持参すること。 ※スクーリングの内容は変更する場合があります。		
10	6/13	エネルギー・鉱産資源				
11	6/20	資源・エネルギー問題	第 5 回 6 月 27 日			【第 3 回】 A：7/20(日) W：7/16(水) ・世界の気候と人々の生活
12	6/27	工業の発達と工業立地		第 6 回 7 月 11 日	※スクーリングにはロイロノートを利用できるタブレット、スマートフォン、PC などを持参すること。 ※スクーリングの内容は変更する場合があります。	
13	7/4	工業の現状と課題				
14	7/11	現代世界の諸地域（中国）		※スクーリングにはロイロノートを利用できるタブレット、スマートフォン、PC などを持参すること。 ※スクーリングの内容は変更する場合があります。		
15	7/18	現代世界の諸地域（韓国）				
16	7/25	期末試験について①				
17	8/1	期末試験について②				
18	8/8	現代世界の諸地域（ASEAN 諸国）	期末試験：9/3(水) 6 時間目(15:10～16:00) 試験範囲：【通信講座】第 2 回～第 13 回 【レポート】第 1 回～第 6 回			
19	8/15	現代世界の諸地域（インド）				
20	8/22	現代世界の諸地域（西アジアと中央アジア）				

2025年度 春学期 教育計画

東海大学付属望星高等学校

教 科		科 目		担 当 者	
地理歴史・公民		世界史探究①	単位数： 2 単位 (4単位分割科目)	北田 邦夫	
指導目標：「歴史総合」で学習した知識を基にして、古代から近世にかけての社会的事象に関する歴史的な見方や考え方を養い、世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的な条件や日本に歴史と関連付けながら、理解するとともに、地球社会の課題と展望を探究する力を養う。					
高校通信講座	あり	講座数：全 20 回	教科書	山川出版社 高校世界史	
スクーリング	1 単位時間×3 回	合格時間数：1 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用	
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	副教材	なし	
期末試験	あり	期末試験評価割合：70%	評 定	100 点法 5 段階評定	
回	配信日	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1 (1 週)	4/18	人類の出現と文明の誕生 【p.14～17,28～29】	第 1 回 5/2	第 1 回 4/20(日)・4/23(水) 「人類の出現とギリシア世界」 ＜内容＞ 私たちの祖先である化石人類たちの生活環境と脳容積についての関連性を学習する。また、ギリシア神話について触れ、教養的な知識の幅を深める。	
2 (2 週)	4/18	古代欧米文明とギリシア世界 【p.34,40～41,64～70】			
3 (3 週)	4/25	ローマ世界とキリスト教 【p.71～78】			
4 (4 週)	5/2	ゲルマン人の大移動とヨーロッパ世界の形成 【p.83～90】	第 2 回 5/16	第 2 回 5/25(日)・5/28(水) 「～発展版～古代中国史」 ＜内容＞ 講座内で伝えきれなかった古代中国王朝史について触れると共に、各王朝の日本との関わり合いについて理解を深める。	
5 (5 週)	5/9	封建社会と十字軍・東ヨーロッパ世界の変容 【p.101～106】			
6 (6 週)	5/16	西ヨーロッパ世界の変容と百年戦争 【p.107～111】			
7 (7 週)	5/23	古代オリエントとアケメネス朝 【p.30～35,62～64】	第 3 回 5/30	第 3 回 7/20(日)・7/2(水) 「文明と宗教の繋がり」 ＜内容＞ 通信講座内で学習する「キリスト教」「イスラム教」「仏教」という世界三大宗教について触れ、成立の背景や文明との関わりについて整理をすると共に、それぞれの宗教の特徴や違いについて理解を深める。	
8 (8 週)	5/30	イスラム教とウマイヤ朝・セルジューク朝 【p.79～83,94～100】			
9 (9 週)	6/6	古代中国文明と中央ユーラシア 【p.37～44】			
10 (10 週)	6/13	古代中国王朝史 【p.44～54】	第 4 回 6/13	第 4 回 6/27 7/11	
11 (11 週)	6/20	宋・元の時代 【p.114～122】			
12 (12 週)	6/27	明・清の時代 【p.123～128,137～140】			
13 (13 週)	7/4	大航海時代・ルネサンスと宗教改革 【p.128～131,141～145】	第 5 回 6/27	第 5 回 7/11 7/11	
14 (14 週)	7/11	主権国家と三十年戦争・欧州各国の台頭 【p.146～154】			
15 (15 週)	7/18	中世の欧米文化・北欧、東欧の動き 【p.112～113,154～158】			
16 (16 週)	7/25	期末試験について①	第 6 回 7/11	第 6 回 7/11 7/11	
17 (17 週)	8/1	期末試験について②			
18 (18 週)	8/8	インダス文明と仏教の広がり 【p.35～36,55～59】			
19 (19 週)	8/15	東南アジア世界とインド王朝① 【p. 60～61, 94～95】	期末試験日時：9/3(水) 3 時間目 ＜試験範囲＞ レポート：第 1 回～第 6 回 通信講座：第 2 回～第 13 回(2 週～13 週)		
20 (20 週)	8/22	インド王朝②とオスマン朝 【p. 132～136】			

2025年度春学期 教育計画

東海大学付属望星高等学校

教 科		科 目		担 当 者			
地理歴史公民科		公 共	単位数： 2 単位	鈴木 浩正			
指導目標：人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ①諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 ②選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力を養う。 ③現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての自覚などを深める。							
高校通信講座	あり	講座数：全 20 回	教科書	第一学習社 高等学校 新公共			
スクーリング	1 単位時間×3 回	合格時間数 1 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用			
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	副教材	なし			
期末試験	あり	期末試験評価割合 70%	評 定	100 点法 5 段階評定			
回	配信日	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)			
1	4/18	公共を学ぶ～公共的な空間に生きる私たち		第 1 回 4/6 (日) 4/25 (金)			
2	4/18	公共的な空間をつくる私たち	第 1 回 5 月 2 日	【公共的な空間のとりえ方】 私たちの生きる社会とはどのような社会なのか？地球環境問題や人口問題、資源エネルギー問題など現代社会の諸課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、自己の生き方と関連させながら考察する。多面的多角的に考察するために、教科書以外の生徒たちの身近にあるテーマを取り入れる。			
3	4/25	公共的な空間における人間としてのあり方 生き方					
4	5/2	公共的な空間における基本的原理					
5	5/9	法や規範の意識と役割	第 2 回 5 月 16 日	第 2 回 5/25 (日) 6/13 (金) 【政治的な主体となる私たち】 身近にあるテーマから『政治や選挙』について考えることで、「政治参加と公正な世論の形成、地方自治」について取り上げ、社会の在り方を多面的多角的に考察する。私たちにとっての幸福、正義、公正などはどのようなことかについて理解し、その知識を身に付ける。また、自己の生き方について考察する			
6	5/16	司法参加の意義	第 3 回 5 月 30 日				
7	5/23	私たちと選挙					
8	5/30	さまざまな政治体制と日本の国会・内閣	第 4 回 6 月 13 日	第 3 回 7/6 (日) 7/18 (金) 【経済の主体となる私たち】 公正で自由な経済活動のために、何が必要か、雇用と労働問題、職業観、市場経済の機能と限界、金融、財政、社会保障、経済のグローバル化などに着目することによって、現代社会に対する理解を深めるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深める。			
9	6/6	国際社会と国家主権					
10	6/13	国際平和のために日本は何ができるのだろうか					
11	6/20	市場経済の機能と限界	第 5 回 6 月 27 日	第 6 回 7/11 日			
12	6/27	経済のグローバル化～国際分業と貿易					
13	7/4	フェアトレードを考える～グローバル化する経済					
14	7/11	地球環境問題と資源・エネルギー問題					
15	7/18	生命倫理					
16	7/25	期末試験					
17	8/1	期末試験					
18	8/8	契約と消費者の権利					
19	8/15	雇用と労働問題／社会の変化と職業観	期末試験：9 月 2 日 (火) 試験範囲は第 2 週～第 13 週、レポート第 1 回～第 6 回				
20	8/22	持続可能な社会保障制度を維持するにはどうすべきだろう？					

教 科		科 目		担 当 者	
地理歴史公民科		政治経済	単位数： 2単位	鈴木 浩正	
指導目標：社会の在り方について の見方・考え方を働かせ、現代の政治、経済、国際関係の動向や本質に関わる諸課題を 追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主 体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・ 能力を育成する。					
1. 現実社会の諸事象を通して現代日本の政治・経済に関する概念 や理論などを習得する。					
2. 現実社会の諸事象を通して現代のグローバル化する国際政治・経済に関する概念や 理論などを習得する。					
高校通信講座	あり	講座数：全 20 回	教科書	第一学習社 高等学校 政治・経済	
スクーリング	1 単位時間×3 回	合格時間数 1 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用	
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	副教材	なし	
期末試験	あり	期末試験評価割合 70%	評 定	100 点法 5 段階評定	
回	配信日	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1	4/18	『政治・経済』での学び		第 1 回 4/6 (日) 5/14 (水)	
2	4/18	政治と法の意義と機能～ 法の支配と立憲主義	第 1 回 5 月 2 日	【持続可能な社会の実現に向けて】 持続可能な社会の実現に向けた、国家や国際機関、企業の取り組みは多岐に渡る。私たち一人ひとりも、地球規模で考え、足元からの行動をとることが重要である。日々の生活の中で自分にできることを考えていく。	
3	4/25	基本的人権の保障と日本国憲法～ 権利と義務との関係			
4	5/2	議会制民主主義と世界の政治体制～ 裁判所の機能と司法制度	第 2 回 5 月 16 日		
5	5/9	地方自治制度と住民の権利～ 政党政治と選挙			
6	5/16	経済活動と市場～経済主体と経済循環	第 3 回 5 月 30 日	第 2 回 5/25 (日) 6/11 (水)	
7	5/23	国民経済の大きさと経済成長～ 財政のしくみと租税の意義		【現代日本の政治・経済の諸課題】 現代日本の政治・経済の諸課題について、事柄や出来事の意味や意義、ものごとの特色や相互の関連性を調べ、結論を導くこと（考察）や、その解決のあり方や方法を考え、まとめること（構想）を通して、探究活動を行っていく。図表やイメージマップなどの思考ツールを活用して、課題の解決のあり方や方法を学習する。	
8	5/30	金融のしくみとはたらき～ 日本経済の変化	第 4 回 6 月 13 日		
9	6/6	中小企業・農業問題～ 社会保障制度と福祉のあり方			
10	6/13	国際社会の変遷～国際法の意義	第 5 回 6 月 27 日		
11	6/20	国際機構の役割 ～日本の安全保障と国際貢献			
12	6/27	貿易の現状と意義～国民経済と国際収支	第 6 回 7 月 11 日	第 3 回 7/6 (日) 8/27 (水)	
13	7/4	為替相場の変動～ 国際経済における日本の地位と国際協力		【グローバル化する国際社会の諸課題】 グローバル化する国際社会の諸課題について事柄や出来事の意味や意義、ものごとの特色や相互の関連性を調べ、結論を導くこと（考察）や、その解決のあり方や方法を考え、まとめること（構想）を通して、探究活動を行っていく。図表やイメージマップなどの思考ツールを活用して、課題の解決のあり方や方法を学習する。	
14	7/11	国際社会の諸課題の探究①			
15	7/18	国際社会の諸課題の探究②			
16	7/25	期末試験			
17	8/1	期末試験			
18	8/8	現代日本の諸課題の探究①			
19	8/15	現代日本の諸課題の探究②			
20	8/22	現代日本の諸課題の探究③			
			期末試験：9月3日（水） 試験範囲は第2週～第13週、レポート第1回～第6回		